

検見川浜・海浜幕張地区における千葉市の取り組み

H26.8.19 千葉西ロータリークラブ卓話

千葉市長 熊谷 俊人

長大な海辺空間の活用

海辺（稲毛・幕張の海浜公園及びいなぎ・検見川・幕張の人工海浜）の活性化



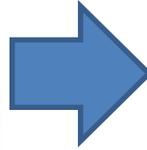
- ・いなげ・検見川・幕張の3つの人工海浜の総延長(4.3km)は日本一です！
- ・いなげの浜は、モナコ公国のモンテカルロ・ラルポット海岸に次いでつくられた、世界で2番目の人工海浜です！
- ・検見川の浜は首都圏有数のウインドサーフィンのメッカです！
- ・人工海浜からは、海ほたるや富士山に沈む夕日(ダイヤモンド富士)、東京スカイツリーが一望できます！

松の間伐

稲毛海浜公園に沿いにある海浜大通りから海とヨットハーバーが見えるように、大きくなった松を間伐しました。

昔は、松も小さく、道路からでも海を感じる事ができたのですが、年月が経過し松が大きく成長したため、海の存在をまったく感じなくなっていました。





稲毛ヨットハーバー建物内改修工事

昭和57年に完成した稲毛ヨットハーバーは、マリンスポーツの拠点として長きにわたりその役目を果たしてきたが、建築物や設備の経年劣化が進行し、破損・故障等が頻繁に発生しており、明るく開放感のある利用しやすい施設として生まれ変わるべく改修を実施



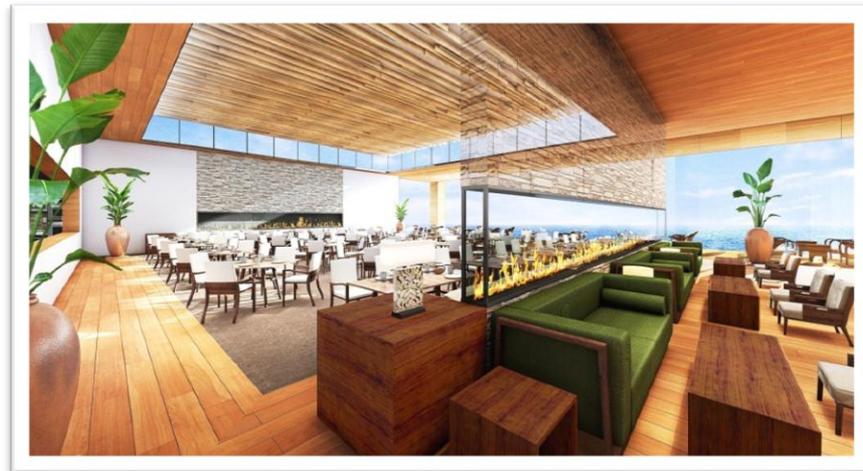
海辺の活性化が本格始動！

【稲毛海浜公園検見川地区活性化施設整備運営事業】
レストラン・結婚式場・集会場などを新たに運営



(事業予定者による提案書の抜粋であり、今後の協議により変更となる可能性があります。)

＜レストラン・軽飲食施設＞ 東京湾を一望できるレストランとオープンエアな軽飲食施設



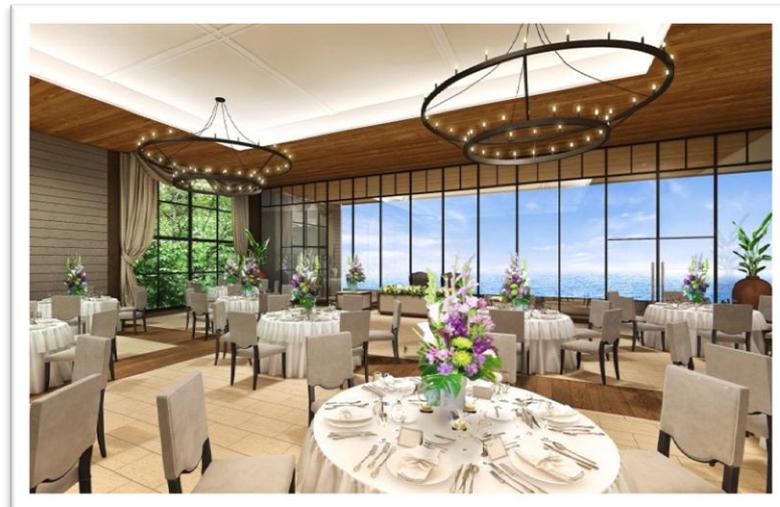
＜音楽堂・展示施設＞

水景のあるアートな音楽堂・展示空間



＜集会場＞

オーシャンビューの開放感あふれるバンケットホールと使い勝手のよい設備を完備



イオンモール幕張新都心



- ・イオンモールの旗艦店として、国内のショッピングモールでは全国3番目となる規模
- ・目標来館者数：年間3500万人
- ・従業員数6,000名以上
- ・吉本興業の「よしもと幕張新都心劇場」、アジア初進出となる「Kandu (カドゥー)」日本第1号店、東映特撮ヒーローの「東映ヒーローワールド」、クールジャパンをテーマとしたゾーン



- ・千葉西警察～市役所前までの改良工事
(市役所付近は地下立体化)
- ・物流の効率化、
港湾や大規模集客施設へのアクセス向上
- ・平成26年度頃完成予定



- ・千葉みなと駅前に旅客船棧橋・親水緑地を整備中
- ・平成27年度末、旅客船棧橋1基供用開始
- ・伊豆大島・横浜・羽田への航路、工場夜景クルーズなど、新たな観光拠点に

アメリカ西海岸視察 (平成26年7月8日(火)～12日(土))

◆サンタモニカ市



【ピア（栈橋）とビーチ】

◆ハンティントンビーチ市



【ピア（栈橋）】

◆ニューポートビーチ市



【バルボアビーチ】

◆サンフランシスコ市



【ピア39（商業施設）】

◆サンノゼ市



【サンノゼ市CIO及びマイクロソフト
US本社の官公庁担当者との意見交換】

◆レッドウッド市



【民間ベンチャー支援施設CEOとの意見交換】

◇ 本視察の成果等

- 海辺の利活用の先進事例としてサンタモニカ市・ハンティントンビーチ市・ニューポートビーチ市・サンフランシスコ市を、またICT(情報通信技術)の利活用の先進事例としてサンノゼ市を、さらには中小ベンチャー企業への支援の先進事例としてレッドウッド市の各都市を訪問し、取り組みの現状を体感できた。
- 地元自治体職員等視察先の関係機関との意見交換を実施し、施策の推進に伴う課題や工夫等について関係者から直接話を伺うことが出来たため、関連する施策についてより深い理解が得られた。
- 千葉商工会議所副会頭をはじめ市内企業の代表と行程を共にしたことにより、官民の連携による、より良いまちづくりの方向性を共有することができた。
- 今回の視察で得られた知見を、千葉市で積極的に推進している各施策の今後の取り組みに活かしていく。

◇ 視察者の視点・感想

- ビーチやピア、商業施設が道路や市街地から一望できるオープンな景観となっており、ビーチエリアと市街地が一体感のある魅力的な空間づくりが行われていると感じた。
- 行政が管理するビーチやピアに付随する商業施設や駐車場は、民間企業により管理運営されており、年間を通して魅力的なイベント誘致による賑わいの創出と収入の確保が図られ、施設の維持管理とマネージメントに活用されていることに刺激を受けた。
- ピアはビーチのランドマーク的に活用され、突端部には店舗やレストランを設置しており、海水浴だけではなく、気軽に散歩や食事に訪れるなど、巾広い来訪者が海を感じることができ、賑わいに大きく寄与している様子がうかがえた。
- 駐車場をビーチやピアの隣接地に確保しているため、来訪者に利便性の良い配置となっており、また、ビーチバレー等のビーチスポーツのほか、自転車・ジョギング・散歩などのルートが確保されており、思い思いの海辺の楽しみ方を満喫していると感じた。
- サンノゼ市の視察では、ICTを活用した行政サービスの効率化をめざして、民間のアイデアや考え方を弾力的に活かそうとするCIO(最高情報責任者)の姿勢に刺激を受けた。
- シリコンバレーの中核を担っているサンノゼ市が社会の変化を受け入れることにオープンな考え方を持っていることに日本の行政風土(システム)との違いを感じた。
- ベンチャー企業支援施設で、世界中の企業が大部屋で企業活動を行い、お互いが情報交換している状況を見て、ベンチャー企業の原点を見せつけられた。